第8回 まち・ひと・しごと創生推進懇話会会議録(書面開催)

- 1 日にち 令和2年7月24日集約(令和2年6月10日発送)
- 2 委員

梶川(武雄商工会議所)、久保(武雄市商工会)、前田(武雄青年会議所)、 下平(佐賀県農業協同組合)、江口(武雄市観光協会)、五十嵐(佐賀大学)、 木下(武雄金融協会)、武富(連合佐賀)、小杉(ケーブルワン)、川原(区長会)、 永松(市民団体)、江越(眉山の森保全の会)、庭木(女性ネットワーク)、 土井(司法書士)、古澤(武雄公共職業安定所)、佐々木(佐賀県さが創生推進課)、 北川(武雄市副市長)

- 3 委員からの意見
- (1) 仕事を創出し、所得を上げる。

【佐賀大学 五十嵐】

- 1-① IT等 society5.0 に対応した業種の進出、創業の増加に期待したい。
- 4-① 新規就農者への継続的な支援を望む。

【観光協会 江口】

2 操業に至らなかったケースの要因についての検証を行いながら、件数の増加、活性 化に結び付けていただきたい。また、創業して欲しい分野の特化なども戦略的に行 えればイメージ作りにもなるのではないか。

【ケーブルワン 小杉】

- ・高校を卒業して進学後、武雄市に戻ってこない状況の改善が見られない。
- ・新たな工業団地への分譲が期待できるが、転出数が改善するとは思えない。創業支援 や相談の機会を増やすなど地道な積み重ねを期待したい。
- ・女性委員の割合増加に向けてもっと積極的に入っていただくような体制を組めない だろうか。あて職ではなく新たな風を吹かせて欲しい。新規就農者の増加は明るい話 題で頼もしい。

【市民団体 永松】

- ・小さなオフィスの地方への移住なども注目されていてアフターコロナの状況下では 更にコスト減の為に都会を脱する、リモートワークを増す企業が増えてくる。通信回 線の補助やテレビ会議システムへの助成などを行っている所もある。
- ・武雄から都会に出て戻って起業やリモートワークをするような場合にも魅力的なサポート体制があるとよいと思う。

【連合佐賀南部地域協議会 武富】

・1-② 創業支援相談件数は目標達成率112%と伸びているものの、実際に創業に至った件数は6件と少ない。相談者が創業に至らなかった要因を分析し、さらなる創業件数アップに努めてほしい

- ・3-① 市の協議会・審議会に占める女性の割合が微増にとどまっているのは残念。 女性が委員を担えなかった要因、又は、行政として支援できることは何かを検 証してほしい。
- ・4-① 若手農業者が増えることは喜ばしい。今回、就農に至った若手農業者が、家 族を持つなど生活に変化があっても継続ができるようフォローアップをお願 いしたい。

【佐賀県さが創生課 佐々木】

1-① 大同メタルの誘致は大きな成果だと思う。

【女性ネットワークたけお 庭木】

- ・7項目中4項目が100%を越し、もう一息が2項目とすばらしい達成です。
- ・3-① 30%を超えて久しいが、40%になるのが難しい。また、30%の中味で、同一人物がいくつもの委員を兼ねているため検討が必要。40%を超すための 1 つのやり方としてクオーター制を考えに入れることも大切かと思う。

(2) 最高の子育て・教育環境をつくる。

【観光協会 江口】

2-23 数の達成率だけでは見えない面のフォローも必要。今後の取り組みにはコロナウイルス危機が及ぼす影響に注視しながら、きめ細かな、個別の対応が必要になる。

【ケーブルワン 小杉】

- ・武雄鍋島家洋学資料をもっと地元の人が知る事ができるよう光をあてて欲しい。
- ・スポーツ課の新設によりテーマが明確となった。より多くの人が参加できるよう周知 を強化して欲しい。

【市民団体 永松】

・10人に1人の母親が「産後うつ」を経験しているといわれる。その頃にパートナー等の協力がなければ「産後クライシス」に陥り、離婚に至る夫婦が増えていると耳にする。安心して「産み育てる」社会と併せて核家族化が進む社会の中でも安心して頼れる社会の実現も必要と考える。ワンオペママ、シングルママも含め少しでも安心して子育てできるよう産後ケア事業への取り組みに期待したい。

【連合佐賀南部地域協議会 武富】

- 2-② 家庭児童相談件数が大きく伸びている。家庭訪問など、アウトリーチの支援の 有効性から、今後も案件が伸びることが予想されるようであれば、ぜひ増員を検 討すること。
- 2-④ 放課後児童クラブの需要は今後ますます高まると思われる。また、今回の新型コロナウイルスによる学校休校で放課後児童クラブは子供の居場所として重要な役割を果たしており、指導員の過重労働による疲弊もあったと思うので、今後第2波に備えるためにも、指導員の適切な人員配置と職責に見合った処遇改善

をお願いしたい。

【佐賀県さが創生課 佐々木】

1-① 武雄市の大きな成功事例である武雄市図書館は好きで、よく本を購入しているが、収支が赤字という報道が毎年なされるのはイメージダウンにつながる。民業も含め黒字というメッセージが発信できれば良いと思う。

【女性ネットワークたけお 庭木】

- ・とても良い結果がでていると思う。
- ・まち、人づくりで一番大切な教育、子育て環境づくりが良い結果を出していることが 素晴らしい。武雄に誇りと郷土愛を持たせることが、定住や町づくりの心につながる と思うので、図書館の中に武雄が誇る武雄の洋学の常設展示場をぜひ造ってほしい

(3) 生きがいと健康を実感できるまちをつくる

【佐賀大学 五十嵐教授】

1-① 受講希望者が多かった割には、実績値が低い。

【ケーブルワン 小杉】

- ・ベジファースト啓発のための市役所だよりのコーナーは堅苦しくない身近な印象で 内容が入ってくる。
- ・認知症サポーターを中2から養成する点は評価する。青陵中学校へも広げて欲しい。 また、様々な側面からの取り組みを強化して欲しい。

【市民団体 永松】

- ・青少年層の公民館離れをくい止めるために、当事者が講座を企画する事例を聞いたことがある。参加したい内容、時間帯の設定など工夫すると公民館や地域参加率の向上につながるかもしれない。
- ・職員向けに開校されている学びの機会を少しオープンにすることも生きがいづくり、 学びの提供に通じると思う。

【連合佐賀南部地域協議会 武富】

- 1-① 達成率は50%となっているが、特記事項をみると実績値は延べ人数ではなく、 複数回参加した人もカウントしているのか?
- 2-② 何か理由があって調査を行わなかったのか?

【女性ネットワーク 庭木】

2-① ベジファーストと共に、減塩も大切では。

(4) 来てもらう・住んでもらうまちをつくる

【観光協会 江口】

- ・観光誘客について、市民、企業、事業者とは常に現状や課題、取り組みなど情報共有、 交換、アドバイスなどを行うことで、相乗効果を上げてほしい。
- ・新幹線駅開業に向けては「あるものを生かす」ための景観、街路整備は必要になる。

【ケーブルワン 小杉】

- ・各町に広がった「たけさんぽ」は地域資源の活用の面でよい。継続して活用してもら える工夫が必要。
- ・今後のナイトタイムエコノミーなどの政策に期待。

【市民団体 永松】

・コロナの影響を受け観光面は思い切った方向転換や考え方が必要になると思う。「オンライン+オフライン」「マイクロツーリズム」「伝統文化と観光」「SDGs」など。苦しいフェーズだと思うが、活気のあるまちを目指して市民一丸となって頑張ってもちこたえていかなければと思う。ナイトタイムエコノミーや武雄の自然を活かした観光など、オンラインと絡めるなど、ファンを増やし定住へのきっかけとなればと思う。

【連合佐賀南部地域協議会 武富】

・全般的に、武雄市に人を呼ぼということは成功していると考える。外国人観光客数が 目標達成率数 200%超えであるのに対し、観光消費額は 97%と伸びていない。観光客 が武雄市で消費してくれる戦略を期待したい。

【女性ネットワーク 庭木】

- ・駅前フェンスいかかっていた「西九州のハブ都市」という垂れ幕がよかった。
- ・令和はコロナと付き合うためにどう変えていくかが大変。

(5) ほどよい田舎で楽しく暮らす環境をつくる

【佐賀大学 五十嵐教授】

2-① 市独自の支援事業を強化すべきかと思う。

【観光協会 江口敬子】

2-① 広域連携も視野に入れて

【ケーブルワン 小杉】

・使い勝手の良いコミュニティバスが整備されていることは心強い。利用者が伸び悩む 理由を分析して欲しい。

【市民団体 永松】

2-① 市民 CSO の体力アップができないと CSO 提案型協働創出事業での提案もできない。新しい指標を考えてもらいたい。現状では CSO の横の繋がりが不足していないか。顔のみえるほど良い距離間で緩やかにつながっていると官民協働も民民協働もより活性化できる。以前は 5 万人程の市だからこそリアルコミュニケーションを通じてゆるやかに連携したり、情報交換できたりした。今はそのような機会が減っている。時代に即した形で CSO 同士、CSO と行政が繋がる仕掛けを考えられたらと思う。例えば、市 CSO 登録 LINE アカウント、活動発表会、交流会的なイベントなど。

【連合佐賀南部地域協議会 武富】

- 2-① 今後 CSO 提案型協働創出事業への提案及び実施につながるような支援をお願いしたい。
- 3-① 地域公共交通はどの自治体も課題である。循環バスの充実と併せて乗り合い タクシーをベースにしたデマンド交通を取り入れることも必要ではないか。

【女性ネットワーク 庭木】

- ・買物難民、ごみ出し難民はこれからの問題。CSO が出てくるよう期待する。
- ・コロナと共存していく令和時代の目標が重要になると思う。

(6) 自由意見

【ケーブルワン 小杉】

- ・課題を分析し、素敵な取り組みも多いのでもっと市民に周知するような広報を強化していいと感じる。取り組み当初のみではなく、「継続して」「定期的に」伝えて欲しい。
- ・総合戦略を HP の目につきやすい場所に格納し、いつでも閲覧できるようにしてはどうか。

<武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI進捗状況調査>

武雄市また	まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定値							実績値						
政策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	データ所管課	具体的事業	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	実施した事業内容	KPI達成に係る事業効果	KPI達成に向けての課題	特記事項
	総論	新規求人数	5,488人 (H26年度)	5,800人 (H31年度)	商工観光課		6,278人	7,334人	8,237人	7,751人				大幅に目標達成。 2期総合戦略では、9,000人 (R6)を目指す。
	具体的施策(1)企業 誘致	企業誘致数	1社 (H26年度)	5社 (H27年度~H31 年度)	企業立地課	·企業誘致事業 ·新工業団地整備事業 ·企業誘致優遇制度 ·企業誘致促進特区事業	2社 (のべ2社)	0社 (のべ2社)	2社 (のべ4社)	0社 (のべ4社)	·企業誘致事業 ·新工業団地整備事業 ·企業誘致優遇制度 ·企業誘致促進特区事業	令和元年度の企業誘致数はC 社であったが、雇用の拡大に 向け工業団地整備に取り組 んだ。	工業団地整備事業に 着手しているが、現況 で市として売れる土地 が無い(また民有地も 少ない)	目標値は達成していないが、予定していた分譲地は完売。 2期総合戦略では、新たに5社(R6まで)を目指す。
	具体的施策(2)地域 経済活性化	創業支援相談件 数	25件 (H26年度)	50件 (H31年度)		·特産品開発、販路開拓事業 ·創業支援事業 ·中小企業融資事業	48件	16件	52件	56件	・創業支援事業 ・商店街等空き店舗活用事 業	事業所の新規創業による地 域活性化及び雇用の創出	創業塾など創業希望者 への支援についての周 知	2期総合戦略では、新たに 50件(R6まで)を目指す。
基本目標		創業件数	3件 (H26年度)	15件 (H27年度~H31 年度)	商工観光課	・商工業振興事業 ・商店街等空き店舗活用事業 ・まちなみ創造事業 ・伝統産業支援事業 ・域外消費促進事業	3件 (のべ6人)	2件 (のべ8人)	4件 (のべ12人)	6件 (のべ18人)	・創業支援事業 ・商店街等空き店舗活用事 業	事業所の新規創業による地 域活性化及び雇用の創出	創業相談窓口訪問者 や創業塾利用者に対 するフォローアップ	2期総合戦略では、新たに 15件(R6まで)を目指す。
一・① 仕事を 創出し、 所得を上 げる	具体的施策(3)就労 支援	市の協議会・審議会に占める女性の割合	34% (H26年度)	40% (H31年度)	男女参画課	•男女共同参画啓発事業	33.30%	32.30%	33.30%	34.40%	・啓発イベント、パネル展実施・市民団体提案委託事業・広報、HP等での啓発	・男女共同参画への意識の醸 成	・啓発活動の継続	目標値までは達成できなかったが一定の効果があった。2期総合戦略では、新た(こ40%(R6まで)を目指す。
		障がい者の雇用 者数	474人 (H26年度)	500人 (H31年度)	福祉課	・障がい者雇用データベース 事業 ・就職相談会開催事業 ・就労マッチング事業	-	610人	693人	671人	・事業所向けセミナー ・就職説明・面接会	・説明会開催により、事業所 の理解が深まってきている ・面接会により、1名の採用	・2月の就職説明・面接 会の開催時期が遅く次 年度の採用が決まって おり、参加企業が減っ た。開催時期の検討が 必要	大幅に目標達成。 引き続き事業推進を図る。
		佐賀県内就職率	32.9% (H26年度)	10%以上向上 (H31年度)		・地(知)の拠点大学による地 方創生推進事業(COC+)	36.90%	31.80%	40.70%	※1年遅れで算出	平成30年度開始 ·実践型地域雇用創造事業	市内事業所の雇用創出	実践型~事業への参加事業所を増やす	年々向上している。
	具体的施策(4)魅力 ある農林業の振興	青年等就農計画 数	2人 (H26年度)	3人 (H31年度)	農林課	・新規就農者支援事業 ・6次産業推進事業 ・集落営農組織の経営発展 事業 ・木質エネルギー普及事業 ・特用 ・特 ・協園芸振興事業 ・有害振興事業 ・有茶生度 ・お茶生の選手 ・お茶生を ・新規作物産地化推進事業 ・地産地消推進事業 ・地産地消推進事業	2人	3人	1人	5人	新規就農者支援事業	若手農業者の確保・育成を図ることで、地域や生産部会の担い手確保につながった	研修機会の場の確保	大幅に目標達成。 2期総合戦略では、新たに 15人(R6まで)を目指す。

武雄市また	ち・ひと・しごと創生総合	戦略 策定値				
政策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	データ所管課	具体的事業
	総論	合計特殊出生率	1.70人 (H20年度~ H24年度)	1.80人 (H31年度)	健康課	
基 子教本②高で環である。 これ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ こうしゅ	具体的施策(1)武雄 市図書館を中心とした 都市魅力アップ	武雄市図書館来館者数	80万736人 (H26年度)	80万人 (H31年度)	文化課	・武雄市図書館を中心とした 都市魅力アップ事業 ・武雄競輪場整備事業 ・子育てセンター(仮称)事業 ・武雄洋学企画展事業
		1歳6カ月健診の 未受診率	4.6% (H26年度)	O% (H31年度)	健康課	低江土堰市業
		家庭児童相談件 数	358件 (H26年度)	360件 (H31年度)	福祉課	・婚活支援事業・不妊治療費助成事業・妊婦健診助成事業・乳幼児健診事業・母子保健事業・小児医療体制の充実事業・子どもの基礎体力向上対策
	具体的施策(2)子育 て・家庭支援	病児保育利用者 数	24人 (H26年度)	456人 (H31年度)	こども未来課	事業 ・放課後児童クラブ整備事 ・放課後子ども教室事業 ・地域子育て支援センター事業 ・保育所・認定こども園整備事業 ・病児・療佐事業 ・病後児保育整備事業 ・公育を変費事業 ・子どり親・多子家庭支援事業 ・・子とり親・多子家庭支援事業
をつくる		放課後児童クラブ を利用した保護者 の満足度	82.6% (H25年度)	90% (H31年度)	こども未来課	** ・私立幼稚園新制度移行促進事業 ・定住環境整備事業 ・定住特区補助金事業
	具体的施策(3)教育 環境整備	子どもの学習意欲 向上度 (とても楽しみと少 し楽しみを足した 割合)	85% (H26年度)	90% (H31年度)	学校教育課	・ICT教育推進事業 ・特色ある学校づくり推進事業 ・特色ある学校づくり推進事業 ・ALT活用事業 ・学校支援地域本部、コミュニティスクール事業 ・不登校対策支援事業 ・運動部活外部指導者招聘 事業 ・新たな学校づくり推進事業 ・子どもの基礎体力向上対 事業 ・トップアスリート招聘事業 ・ハ中学校の体験活動の充 実事業

				実績	植					
H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	実施した事業内容	KPI達成に係る事業効果	KPI達成に向けての課題	特記事項			
H25年度〜H29年度間の厚生労働省における武雄市データは未公表 【参考】佐賀県 1.61(H20-H24) 1.64(H30)										
8万8,710人	91万167人	107万3,257人	98万2,042人		こども図書館開館に伴い、利 用者が大幅に増加した。 親子だけでなく、世代を超え た交流の場として利用いただいている。	引き続き、利用者の満足を得られるように、更なる充実を図る。	大幅に目標達成。 引き続き事業推進を図る			
3.60%	3.00%	1.95%	1.40%	未受診者に再々の受診勧奨 通知を送付し、受診を促し た。保育園等就園児につい ては、園訪問時に様子観察 を行っている。	健診により成長発達の確認と 保健指導を行うことで、健全 な成長と子育ての支援につな げる。	予防の観点から、受診	目標値は達成していないが、受診率が向上した。引き続き事業の推進を図る			
344件	329件	405件	500件	家庭児童相談員2名による 来庁相談、電話相談、家庭 訪問等	より良い子育ての環境改善の 支援ができた	関係機関との連携、情報共有	大幅に目標達成。 2期総合戦略では、450件 (R6)を目指す。			
28人	27人	257人 38人	455人 24人	(左欄数値) 上段:武雄市病児·病後児保 育施設利用者	わって、病児・病後児保育施設において一時的に保育。保護者の子育で・就労の両立の	利用促進を図るため、事業の周知に努める。	2期総合戦略では、850 / (R6)を目指し、引き続き 業推進を図る。			
96.00%	93.50%	97.00%	97.50%	・放課後児童クラブ整備事業・放課後子供教室推進事業	保護者が就労等で昼間家庭にいない児童に居場所を与えた。放課後及び長期休業中における、こどもの発達段階に応じたこどもの主体的な遊や生活を尊重し、育成支援を図った。	材確保•待機児童解	大幅に目標達成。 2期総合戦略では、98% (R6)を目指し、引き続き: 業推進を図る。			
87.30%	87.53%	89.22%	88.30%	走~ ・ICT教育推進事業 ・研究指定校事業 ・ALT活用事業 ・学校支援地域本部、コミュニティスクール事業 ・不登校対策支援事業 ・運動部活外部指導者招聘事業 ・新たな学校づくり推進事業 ・子どもの基礎体カ向上対策	徒が授業に主体的に取り組むようになった。 ・地域ボランティアが学校と協働して活動に参加できる仕組みづくりを推進し地域や学校の実情や特色を活かした活動ができた。 ・授業支援システムが活用で	ンティア、ALTの人的確保。 ・不登校対策は多岐に渡るため関係部署との連携が必要。 ・スポーツ事業への参加者増に向け、児童・生徒が参加しやすい日程調整が必要となる。	目標値は達成していないが、一定の効果があった 2期総合戦略では、90%(F を目指す。			

武雄市まち	武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定値											
政策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	データ所管課	具体的事業						
	総論	健康寿命	男性78.45歳 女性83.12歳 (H24年度)	1歳延伸 (H31年度)	健康課							
	具体的施策(1)生き がいづくり推進	青年向け講座	今後実施予定	40人 (H31年度)	生涯学習課	・高齢者大学、大学院助成事業 ・シルバー人材センター支援事業・里山ビジネス事業・青年向け講座事業						
		高齢者大学参加 者数	155人 (H26年度)	195人 (H31年度)	生涯学習課	・高校生通学合宿事業 ・老人クラブ活動事業						
基本 3 生と実まる は まる さる さる さる さる さる さる も も は の も は の も の る の も の る る る る る る る る る る る る る	具体的施策(2)健康 増進	国保の特定健診率	36.7% (H26年度)	50%(H31年度)	健康課	・健康ポイント制の導入 ・国保の特定健診保健指導 事業 ・町保の特定健診事業 ・がん検診事業 ・障がい者スポーツ普及促進 事業 ・さわやかスポーツクラブ事 業 ・食育寺子屋事業 ・食生活改善推進協議会伝						
		週3回以上朝食を 抜く人の数	6.7% (H25年度)	1.7% (H31年度)	健康課	達活動事業						
	具体的施策(3)介護· 高齢者福祉	認知症サポーター登録者数	2,831人 (H26年度)	6,900人 (H31年度)	健康課	·認知症対策事業 ·生活支援体制整備事業 ·在宅医療介護連携推進事業 ·介護予防事業 ·介護保険事業 ·在宅福祉事業						
	具体的施策(4)障が い福祉	障がい者(児)が 自立した生活をす るためのサービス 利用者数	575人 (H26年度)	690人 (H31年度)	福祉課	・障がい福祉サービス事業 ・住宅バリアフリー化の推進 事業 (住宅リフォーム助成事 業)						
	具体的施策(5)生活 環境改善	生活困窮者自立 支援対応件数	H27年度より 実施	240人 (H31年度)	福祉課	•生活困窮者自立支援事業						

				実総	責値		
H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	実施した事業内容	KPI達成に係る事業効果	KPI達成に向けての課題	特記事項
-	男性79.09歳 女性83.23歳 (H25年度)	男性79.12歳 女性83.73歳 (H26年度)					2期総合戦略では、 男性80.47歳 女性86.40歳 (R6年度分)を目指す。
30人	12人	21人	20人	中央公民館講座 (筆ペン・ボールペン講座)	・学習機会の提供を行い、市民の充実した生活づくりに貢献した。	・先着順とした結果、申 し込みが殺到し、お断り した方が多数いたた め、抽選制にする、予 算の範囲内で定期的に 実施するなど、出来高 だけ多くの方が受講で きる手法を取りたい	2期総合戦略では、各町公 民館等の講座も含め成人 対象講座2,700人(R6)を目 指す。
163人	155人	140人	155人	高齢者大学(武雄市民大学)	・高齢者の生きがいづくり、居 場所づくりにつながった	・今後の高齢者増加に 備えてさらなる受け皿 の確保 ・新規受講者が申し込 みやすい環境づくり	目標値は達成していないが、一定の効果があった。 2期総合戦略では、200名 (R6)を目指す。
42.60%	46.40%	50.50%	50.00%	・武雄市国保40歳~74歳に対し、健診を実施・地元からの依頼をうけ、スポーツ推進委員より障がい名の方へのレクリエーション(ニュースポーツ)を年3回開催・さわやかクラブ武雄 会員数422名。異世代間交流事と夏休み期間に合わせ、2回開催(対象校:小学校2校)。	・健診受診者に対し、保健指導を行い、健康への意識を高め医療費削減につなげる・スポーツをする機会、地域コミュニティの創出により、心身の健康と生きがいづくりにつながっている。	・受診率を目標値まで向上させ、保健指導の実施を強化し、更なる健康増進と医療費削減を目指す・用具の活用等による、事業内容の充実・参加者・会員数の増	2期総合戦略では、60% (R6)を目指す。
6.60%	7.38%	7.40%	調査はH30 年度で終了				引き続き事業の推進を図る。
3,540人	5,095人	5,918人	6,521人	認知症についての正しい知 識と理解を持ち、手助けする 認知症サポーターの養成講 座を実施	・認知症高齢者等にやさしい地域づくり		目標値は達成していないが、一定の効果があった。 2期総合戦略では、10,000 人(R6)を目指す。
614人	660人	717人	771人	・障害福祉サービス事業・在宅ヘルパー・GH利用・就労支援	・福祉的就労がにつながっている	・重度心身障がい者へ の支援	大幅に目標達成。 2期総合戦略では、860人 (R6)を目指す。
132人 (699件)	115人 (961件)	105人 (835件)		・自立相談業務(ハローワーク同行等)・家計改善業務(家計表作成等)	・生活困窮者の自立につな がっている。		相談件数減により困窮者 減がみられる。引き続き事 業の推進を図る。

武雄市また	5・ひと・しごと創生総合	戦略 策定値									実終	責値	
政策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	データ所管課	具体的事業	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	実施した事業内容	KPI達成に係る事業効果	KPI
	総論	交流人口	180万人 (H25年度)	200万人 (H31年度)	商工観光課		183万人	180万人	185万人	194万人			
	具体的施策(1)国内·	観光消費額	110億4372万 7千円 (H25年度)	125億円 (H31年度)	商工観光課	・地域資源・アートを活用した 観光客誘致事業(楼門100周 年事業) ・地域資源を活用したまちあるき事業 ・体験型ツーリズム事業 ・観光振興・PR事業 ・各地域のイベント支援事業 ・観光コンシェルジュ事業	112億5367 万円 (H26.1~12)	万円 万円	113億4373 万円 (H28.1~12)	万円	・地域資源を活用したまちあるき事業(タケさんぽ西川登コース開設)・まちなか体験事業(体験PV作成)・観光振興・PR事業(国内:東京、大阪、名古屋、中国、福岡、大政、名古屋、中川、各地域のイベント支援事業(春祭り、秋祭り、灯ろう祭り等)・観光コンシェルジュ事業(た	旅行会社等への営業活動や 海外旅行会社、海外メディア 視察受け入れ等の積み重ね により、観光客誘致につな	白につ
基本目標 ④ もらでもらうくる	海外誘客	外国人観光客数	2,671人 (H25年度)	10,000人 (H31年度)	商工観光課	 ・新幹線活用プロジェクト事業 ・武雄温泉楼門朝市事業 ・武雄温泉保養村資源活用事業 ・九州オルレコース整備事業 ・海外観光客受入整備事業 ・外国人観光客受入環境整備事業 ・海外観光エージェント招へい事業 	9,419人 (H26.1~12)	11,458人 (H27.1~12)	23,543人 (H28.1~12)	28,787人 (H29.1~12)	(たけなび) ・新幹線活用プロジェクト事業 ・武雄温泉楼門朝市事業 ・九州オルレコース整備し、クリスマスオルレ開催) ・観光客誘致対策事業(CV、修学旅行) ・宿泊旅行商品造成事業 ・観光誘客チャレンジ事務 ・観光誘客チャレンジ事務	がってきていたが、R1.8の豪 雨災害や昨今の新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、観光業は大きな影響を受けている。	イルス件い、
	具体的施策(2)UIJ ターン・教育移住推進	周辺部地域への 移住者数	14世帯 (H26年度)	20世帯 (H31年度)	住まい支援課	・企業誘致優遇制度事業 ・定住特区補助金事業 ・空き家バンク新規物件登録 事業 ・定住環境整備事業 ・福岡、長崎等通勤補助事業	15世帯 34人	5世帯 16人	定住支援金 13世帯33人 定住特区補 助金 6世帯17人	27世帯87人 定住特区補 助金	企業誘致優遇制度事業 定住支援金事業 定住特区補助金事業 空き家パンク新規物件登録 事業 定住環境整備事業	事業実施により左記の移住支援実績につながっている	ER1年 正し、 度を加
	具体的施策(3)ス ポーツ大会等誘致	スポーツ大会の宿泊者助成数	1,614人 (H26年度)	1,800人 (H31年度)	商工観光課	・競輪場を活用したスポーツ 活性化事業 ・スポーツ合宿、各種大会誘 致事業 ・武雄温泉リレーマラソン事 業	2,411人	3,226人	2,147人	1,802人	(誘致イベント・キャンプ) ・フィットネスまつり 185人 ・ラクロスフレッシュマンズ キャンプ 179人 ・早稲田大学 男子ラクロス部 (宿泊) 32人 ・Autumn Baseball Festival	駅から宿泊施設とスポーツ施設が近く、温泉地でもあることから好評である。	· 体育 施設; · 九州 (大学

実績値										
H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	実施した事業内容	KPI達成に係る事業効果	KPI達成に向けての課題	特記事項			
183万人	180万人	185万人	194万人				目標値は達成していないが、一定の効果があった。 2期総合戦略では、220万 人(R6)を目指すが、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される。			
112億5367 万円 (H26.1~12)	110億7691 万円 (H27.1~12)	万円	万円	・地域資源を活用したまちあるき事業(タケさんぽ西川登コース開設) ・まちなか体験事業(体験PV作成) ・観光振興・PR事業(国内:東京、大阪、名吉屋、中国内:東京、大阪、名韓国、中国、福岡地、海外・韓ゴポール他) ・各地域のイベント支援事業(春祭り、秋祭り、灯ろう祭り等) ・観光コンシェルジュ事業(た	旅行会社等への営業活動や 海外旅行会社、海外メディア 視察受け入れ等の積み重ね により、観光され	各種事業の取り組みに より、観光客誘客を図 り、特に外国人観光客 については年々増加傾 向にあったが、韓国と の政治情勢や佐賀豪 雨災害、新型コロナウ	目標値は達成していないが、一定の効果があった。 2期総合戦略では、135億円 (R6)を目指す。			
9,419人 (H26.1~12)	11,458人 (H27.1~12)	23,543人 (H28.1~12)	28,787人 (H29.1~12)	けなび) ・新幹線活用プロジェクト事業 ・武雄温泉楼門朝市事業 ・九州オルレコース整備事業 (維持管理、コース見直し、ク	がってきていたが、R1.8の豪雨災害や昨今の新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、観光業は大きな影響を受けている。	イルフ蔵込납士陆正に	目標は大幅に達成。 2期総合戦略では、40,000 人(R6)を目指す。			
15世帯 34人	5世帯 16人	13世帯33人 定住特区補	定住特区補 助金	企業誘致優遇制度事業 定住支援金事業 定住特区補助金事業 空き家バンク新規物件登録 事業 定住環境整備事業	事業実施により左記の移住支 援実績につながっている	R1年度までの制度を改 正し、R2年度より新制 度を施行	引き続き定住移住政策の推 進を図る。			
2,411人	3,226人	2,147人	1,802人	(誘致イベント・キャンプ) ・フィットネスまつり 185人 ・ラクロスフレッシュマンズ キャンプ 179人 ・早稲田大学 男子ラクロス部 (宿泊) 32人 ・Autumn Baseball Festival	駅から宿泊施設とスポーツ施設が近く、温泉地でもあることから好評である。	・体育協会と連携した 施設運用及び整備 ・九州内の各種団体 (大学等)への周知	2期総合戦略では、スポー ツ大会、合宿等の宿泊者数 3,000人(R6)、スポーツイベ ント等への参加人数6,000 人(R6)を目指す。			

武雄市まち	・ひと・しごと創生総合	戦略 策定値				
政策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	データ所管課	具体的事業
	総論	人口の社会増減 数	▲216人 (H25年度)	▲108人 (H31年度)	市民課	
	具体的施策(1)定住 環境整備	超高速通信網のエリアカバー率	55.6% (H26年度)	100% (H31年度)	広報課	 ・超高速通信網の整備促進事業 ・周辺部住宅整備事業 ・汚水施設整備事業 ・市民の手続き利便性向上事業 ・防災システム構築事業
基本目標 ⑤ ほどよい 田舎で楽	具体的施策(2)地域 づくり支援	CSO提案型協働 創出事業 提案 数·実施数	提案数8件・ 実施数0件 (H26年度)	提案数12件•実施 数8件 (H31年度)	市民協働課	・がんばる地域応援事業 ・伝統芸能継承事業 ・CSO活動助成事業 ・対話の機会創出事業 ・ジュニアリーダー等支援事業
はく暮らすっくる	具体的施策(3)地域 の交通確保	循環バスの乗客 数	19,705人 (H26年度)	21,000人 (H31年度)	企画政策 課	・循環バス運行事業・生活交通路線維持事業・みんなのバス事業・廃止路線代替バス運行事業・地方バス路線運行事業
	具体的施策(4)武雄 版里山ビジネスモデ ルの確立	特産品化数	H27年度より 実施	7品目 (H27年度~H31 年度)	農林課	・地域(里山)資源の発掘事業 ・生産体制確立支援事業

				実約	責値		
H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	実施した事業内容	KPI達成に係る事業効果	KPI達成に向けての課題	特記事項
▲64人	▲109人	28人	▲78人				H30年度では、増となった。 引き続き減少率の低下を目 指す。
92.66%	92.66%	93.83%	93.83%	CATV事業者との意見交換・ 要望活動	市内全域での高速通信網整 備によるQOL向上	民間事業者における不 採算地区に対する整備 推進	引き続き事業の推進を図 る。
提案数4件 実施数3件	提案数0件 実施数0件	提案数0件 実施数0件		がんばる地域応援事業 人づくりまちづくり事業	本事業(主催:県)によらない 形での市民活動等は行われ ている。	・市民活動の支援の継続の方法 ・指標の見直しの検討が必要と思われる。	引き続き事業の推進を図る。
17,294人	16,974人	16,946人	15,980人	・循環バス運行事業 ・生活交通路線維持事業 ・コミュニティバス運行事業 ・廃止路線代替バス運行事業 ・地方バス路線運行事業	人口減少による利用者の減 や運行経費の増大による赤 字運行が慢性化。企業努力 による路線維持には限界があ り、運行費補助による支援は 路線維持のために一定の効 果がある。	運行費欠損額が年々 増加しており、市の財 政的にはこのまま同様 の形態を維持すること は難しい。 市全体的な公共交通 網の見直しにR2より着 手。	目標値は達成していないが、一定の効果があった。 2期総合戦略では、循環バスとみんなのバス等含め 27,000人(R6)を目指す。
3品目 (のべ3品 目)	2品目 (のべ5品 目)	2品目 (のべ7品 目)	0品目 (のべ7品 目)	・地域(里山)資源の発掘事業	地域資源を活用した商品化に 繋がったため、効果あり		引き続き商品化に向けた取 り組みを推進する。